

## スーパーバイザー 矢高則夫氏 講演・生徒との座談会の記録(要旨)

### 演題 ～「グローバル社会における信州の若きリーダーに期待すること」～

(期日:平成 28 年 12 月 3 日 会場:飯田OIDE長姫高校)

---

#### ◇講演記録

##### 【はじめに】

おはようございます。矢高則夫だに。飯田の人間だもんで、飯田に帰ってくると飯田の言葉を使って話すに。今日は皆さんとお話する機会を与えてもらえて本当に嬉しいよ。

長野県飯田OIDE長姫高等学校。私としたら皆さんのお父さん・お母さんよりも早く生まれたと思うもんで、飯田長姫高等学校と飯田工業高等学校のほうが、実をいうと親しみがあります。私は1954年、昭和29年の生まれ。62歳です。昭和29年というと、どうしても飯田長姫高校の選抜高校野球大会全国優勝というのが記憶に残るんだ。私が生まれたのは9月17日ですが、飯田長姫高校は4月7日に九州の小倉高校に1対0で勝って、全国優勝をしました。

3年生の衆は何年生まれよ。寅年かな。早生まれの人は卯年？私は午年。皆さんは寅、卯、辰、巳だに。1年生で早生まれの人はおらんのかな。今日はおらんか。わかりました。それで、この中で15歳の方は手を挙げて。それから16歳。17歳。18歳。ありがとう。何でこんなことを言うのかというと、今日は先程話をさせていただいた山越先生から「グローバル社会における信州の若きリーダーに期待すること」ということで、指導者についての話をしたいと言われたんな。何で年齢を聞いたかということ、今年初めて日本で選挙権年齢が18歳にまで引き下げられました。この中で投票した人もおるのかな(数人が手を挙げる)。国政に関与するようになったわけで、そういう意味でもリーダーに期待するっっちゃうことを話すいい機会じゃないかと思いました。

##### 【日本のグローバル化は1500年位前から始まった】

グローバル化ということで世界の話もしたいんだけど、これね日本地図。向きが変だと思うんだけど、逆さになるとる。富山県の県庁が作った逆さ地図で、日本海を中心にアジアを見るとこういうふうになるはずだって作った。見て直ぐわかると思うんだけど、私たちが住んでいる信州の辺りは、本州が南北に張り出しとる。私になぜ、皆さんにこの地図をお見せしたかっていうと、日本の文化のグローバル化っていうのは、いつ頃から始まったかっていうのをお話をしたかった。グローバル化っていうのは、ペリーの黒船が来て、日本がアメリカとかヨーロッパの国々と国交を持つとかっていう時に始まったわけではない。もう、1500年位前からグローバル化が始まっていったんだということ。しかも、私たちが住んどる信州はグローバル化の真ただ中におったということをお話して欲しかったんでこの地図を見ていただきました。何を言いたいかということ、日本には文化が朝鮮半島から来る。朝鮮半島から来る文化っていうのは、紀元3世紀～4世紀頃に、千曲川や姫川からさかのぼって信州の北のほうに来た。それから100年ぐらい後に、今度は、九州を横切って、四国の北から紀伊半島を遡って渥美半島から天竜川を遡るみたいな格好で飯田に

入ってきたというのが、この信州にもたらされた文化です。グローバル化です。

### 【グローバル化の象徴は古墳】

日本史に出てくるから、グローバル化の一番の象徴は古墳というのをみんな聞いたことがあると思うんだ。信州の中で前方後円墳というのが現れるのが、善光寺周辺の森將軍塚古墳とか、飯田・下伊那の高岡第1号古墳なんです。前方後円墳が古墳の最終形みたいなもので、朝鮮半島の南の方にある古墳の造りとか、古墳から出てくる死者にお供えする副葬品とかがよく似とるってということで、紀元350年前後、今から1700年前に、私たちが住む飯田の辺りは朝鮮半島と直接的に結びついた地域です。だから今、グローバル化が始まるとか、1990年代にアメリカの常識や価値観で世界経済を推し進めるという意味で、グローバル化という言葉ができたけれども、今の日本国内と違う人たち、今の日本国内ではない人たちと密接に付き合い、同じように古墳というものを共有しているという文化が1700年前からある。古墳の先進地帯が長野県では、善光寺周辺と、飯田・下伊那であることを頭に置いておいて欲しいということでもあります。

### 【グローバル化と国際化の違い】

グローバル化と国際化はどう違うのか。グローバルは、世界に繋がりがああるっていうふうに言えばいいんだけど「国境がなく、価値観が共有される」ということだ。きれいな言葉だけでも、逆に言えば「国境なく、強いものの価値観が弱いものに押し付けられる」というのがグローバル化の一つの考え方だ。1700年前、グローバル化というのはこの地域にあったんだけど、これが、グローバル化から国際化になるんだ。国際っていう字はみんな書けるな。「こくさい」っていうのは音読みだ。じゃあ訓読みにしたらどうなる。「くにぎわ」になるんだ。国と国の際(きわ)、国と国の境目ってというのが、国際なんだ。それを乗り越えようっていう努力なんだけども。つまり、国際化は国があることが前提です。国の違いを理解する。国々がそれぞれの相手を尊重することがあって、初めて国際化っていうのができると私は思うわけです。

### 【国際化はグローバル化の次に起こった】

今から1400年位前に国際化を象徴する和歌集があります。それが、万葉集。万葉集には4500首ぐらいあります。この飯田に一番関連があるというのか、分かり易いのはこの歌だ。「ちはやぶる 神の御坂に幣まつり 斎ふ命は母父がため」ってというのが、万葉集に出てくる飯田・下伊那を舞台にした歌です。この「御坂」ってというのは恵那山トンネルの上だ。御坂峠を越えて都から東国にいろんな文化が入ってきた。「ちはやぶる」ってというのは神様の枕詞だから、神様の前には「ちはやぶる」ってつけるんな。この歌を書いたのは、信濃国埴科郡の人だ。当時の政府に徴兵されて、朝鮮半島の人たちが日本に攻めてきたときのために、埴科郡の辺りから多分大阪まで歩いて、大阪からは船に乗って北九州まで行くと思うんだけど、徴兵でわざわざ旅をするときに、私は国を守るために北九州のほうに行くんだけど、御坂峠でお供え物をして「お父さん、お母さん、元気でいてください」ということを、神様にお祈りします。つまり、これは何を言いたいのかというと、さっき言ったグローバル化の社会では、朝鮮半島が新羅という国のもとで統一されて、日本も国にならなくちゃいけないとなった。あるいは、中国大陸には唐という大帝國がで

きて、これも場合によっては日本に攻めてくるんじゃないかということで、7世紀から8世紀の時代に日本に天皇を中心とする国ができたという国際化が、グローバル化の次に起こった。その時に飯田を通して国を守るために東国から兵士が北九州に派遣された、非常に重要な鍵を握る地域だったというのがこの飯田・下伊那であります。このことを理解して、これからの国際化というもの、あるいはグローバル化というものを考えていただけたらいいと思います。

### 【信濃の国について】

信濃の国という歌はみんな知つとるな。「信濃の国は十州に 境連ぬる国にして」とあるが、確かに数えてみると「越中、飛騨、美濃、三河、遠江、駿河、甲斐、武蔵、上野、越後」の十の国がある。もう一つ、せっかくだから覚えて欲しいんだけど、長野県にも郡が十あるんだ。ここは下伊那郡だな。ただ、昔は上伊那・下伊那っていわなんだに。伊那郡って言うておった。その北に諏訪郡ちゅうのがあって、佐久、小県、筑摩、安曇、水内、高井、埴科、更級があった。だから、信州というのは十州に連なっておるけれども、郡も十あるということ覚えていて欲しいです。ここが木曾郡。私が若い頃は西筑摩郡でゆつとったんだけど、その昔は美濃国で、信濃国ではなかった。その後、信濃国に編入されましたけども、覚えておいていただくと何かのときに役立つかもしれんな。

### 【2001年9月11日という日】

この写真は高校生だったら見てもらってもいいと思って出しました。ちょうど私が、ニューヨークにおるときにこの事件がおこりました。2001年9月11日だな。覚えている人はおらん。私はこの時、ニューヨークの通勤電車に乗ったんだ。それで、何のアナウンスもなく、電車が2回止まったんだに。ニューヨークの駅ちゅうのは、電車が入って来ても行き止まりになっていて、そこからもと来た方向に戻るという駅です。乗ってくる人がやたら多くいて、10時前に着いたんだけど、普通は通勤電車っていうのは終点に着いたら全員降りて、乗って来る人は少ないんだけど、その時は血相を変えた人がどんどん乗ってきました。私は変だなと思って、キヨスクにあったテレビを見たらこの建物（ワールドトレードセンター）が、燃えとったんだ。支局長に「矢高君、飛行機がワールドトレードセンターに突っ込んだ。直ぐに行ってくれたまえ。」って言われて行ったんだけど、9月11日は晴天で、ニューヨークの気圧配置は西高東低で西から東に向って煙がでてたんだ。私が着く前に、この建物は2つとも倒れてたんだ。私は東側に入ったもんだから、空は全部ほこりと煙です。それに携帯電話は全然使えんもんで、何もわからない。ここ（ビルを指し）に飛行機がぶつかったんだ。もちろん、ぶつかると思ってカメラを向けている人はいないんだけど、燃えている状況を撮ろうと思ってカメラマンがワールドトレードセンターにカメラを向けるときに2機目が入ってきたんで、まさにぶつかる直前とぶつかった瞬間の写真を撮った人が大勢おった。

ワールドトレードセンターに向かっていると、頭が真っ白でネクタイをしめたサラリーマン風の日本人みたいな人が走ってきた。この人がもしかしたら関係あるんじゃないかと思って、呼び止めて話を聞いた。実はその人は、真っ黒い髪だったんだけど、ほこりと煙で真っ白になっていた。彼は「何が起きたんですか」って私に聞くんだ。何が起こったのか分からなかったらしい。

彼はちょうど飛行機がぶつかった反対側の80数階で働いていたらしいんだけど、階段を降りて逃げてきた。一番近くにいる人が、何がなんだか分からないわけ。私は現場の下まで行った人間なんだけど、さっきも言ったように煙とほこりで、建物が見えないもんだから、ビルが倒れたっていうことを知らなかった。

皆さんのお父さんやお母さん、親戚の人たちは日本の飯田・下伊那であの様子をテレビで観て、ビルの下におった私よりも早くビルが倒れたっていうことがわかった。近くにいたらわかるっていうもんじゃない。ただ、新聞ていうのはよくしたもので、私の同僚で反対側から入った人がおって、落ちるところ、崩れるところ、全部見てくれた人がおって、全部やってくれました。だで、新聞記事ていうのは現場に何人出して、それからバックアップ体制を一生懸命つくって、皆さんに読んでいただける記事を作っているということを申し上げたい。

### 【マンデラ大統領】

私は大きな事件に当たる、持ってる記者っていうか、ニューヨークにおける時はテロだったんだけど、イランにおける時は湾岸戦争がありました。その次に、南アフリカにヨハネスブルクというところがあって、1994年にマンデラ大統領が当選した。マンデラ大統領は、2013年の12月に亡くなった人なので、皆さんご存知かどうか分からないんだけど、黒人の大統領です。南アフリカは、当時も今も4,000万人くらいの人がおる。日本の人口の1/3ぐらいだな。面積でいうと4倍弱ぐらいなんだ。どんな特色があるかという、4,000万人の内500万人が白人で、3,500万人が黒人なんだよ。ところが、白人たちが黒人を政治から完全に閉め出して白人だけの議会で全てを決めていたんです。それで、3,500万人の黒人の人たちに「お前たちは南アフリカの国民じゃないんだよ。」と。日本の数倍もある122万平方キロメートルの国土の中で、土がやせとって農業にも使えない土地に黒人を押し込めた。ウランとか金、鉄鉱石、石炭とかの地下資源がザックザックある国なんだけど、その採掘権を与えずに白人だけでやっていた。だけど、それはおかしい。白人だって黒人だって、一緒にやらなければいけないという話になったんだけど、抵抗していたんだよ。それで、マンデラさんという人は、黒人の部族の王族がそこらじゅうに何人かおって、その王様の従兄弟とか又従兄弟みたいな結構な名門の人なんだけれども、この人が、「白人も黒人も平等な政治をやりましょうよ」といった。「政治をやりましょう」と言うのはどういうことかという、「1人1票で選挙をやりましょう」ということを言ったら、反逆罪で逮捕されて、1963年から1990年までの27年間、牢屋に入れておかれた。最初は離れ小島みたいなところで、重労働で目を悪くすることもある石切作業をしていたり、本土に移されて立派な家に住まわされた時代もあったんだけど、27年間投獄されていた。この写真の真ん中におけるのが白人政権のデクラーク大統領。私がおった1994年に選挙をやって、ANC（アフリカ民族会議）が勝って初めての民主政権ができた。選挙をやる半年前の1993年には、デクラーク大統領とマンデラさんは民主化の一手手前までやってきたということで、一緒にノーベル平和賞を受賞しました。

### 【肌合いが合う、合わない】

私が言いたいことは、デクラークさんとマンデラさんちゅうのは、基本的にはものすごく肌合いが合わない人です。よく英語で「chemistry」という言葉をいうんだけどね。誰と誰が肌合いが

合う。日本の〇〇首相とアメリカの〇〇大統領は「chemistry」が合う、などと言うよね。肌合いが本当に合わない二人が、協力して南アフリカの民主化をやったということを、今日は皆さんにお伝えしたいというふうに思いました。指導者っていうのは、そういうもんなんだ。どんなに嫌な人でも、これをやらなくてはいけないと思えば、反発し合う気持ちを捨ててやらなくちゃいけないということだな。生徒会に入ったりする方もおいでになると思うんだけど、高校生の時にはどういう人と自分は合うかを考えて、この人とだったら仕事ができる、この人はちょっと難しいのかな、おっかないのかな、そういうふうによく考えて、話をするのがいいんじゃないかと思うんだけどね。むしろ、この教室でいうと、入口の近い方に座っとる大人の人たちに聞いてもらったほうがいいような話なんだけど、年をとってきて自分の立場もあると、気が合わない人とでも仕事をしなければいけないとかね。私もそういうことはあるんだけど、そういうことが大切だって言いたい。

### 【指導者に必要なこと】

マンデラさんという人は、大変立派な人です。間違いないです。彼は白人が私達を差別してやっておったっていうことを言って、自分たちの権利を奪い、政治から締め出したっていうことなんだけど、一貫して「報復はするな。白人たちを許しましょう。白人たちに寛容になりましょう。」ということをして、言い続けた人です。さっき言ったけども、すごかったのは刑務所に入っているときも、民主化運動の黒人指導者たちが20数年間一緒におったもんで、その間中、彼らに「白人の政権を武力で倒すようでは上手いかんよ。」っていうことを教え続けていた。マンデラさんが他の黒人指導者と一緒に釈放されたときに、たぶん白人に対する報復はしないという合意ができていたんだと思う。ところが何度か取材していると、マンデラさんが怒るときがあるんです。どういう時かっていうと、マンデラさんは、「我々が人種解放闘争をやって追い詰めてきた」っていうんだけど、デクラーク大統領は必ず「私が貴方を釈放してあげたんだ。」ってわざと恩着せがましく言うから、嫌だったんだろう。選挙をやることも、「少数派の私たち白人が民主化をすることが正しいと思って、民主化の道を選んだ。マンデラさんが主導しているアフリカ民族会議からいろいろな抵抗を受けて、仕方なく民主化の道を選んだんじゃない。南アフリカの民主化・人種解放は自分たちの自由意志で決断したんだ。私たち白人の判断でやったんだ。」っていうことを言い続けた。1994年に民主化になって、22年経っていろいろな問題が起きているけれども、南アフリカが世界の人種融和をリードできたのは、本当に肌が合わない二人ではあるが、民主化は二人でやるしかないと思って行動したからだ。デクラーク大統領がマンデラさんを挑発して、マンデラさんは挑発されたことへの怒りを隠さない。白人はマンデラさんが怒っているのを見て、デクラーク大統領がいればマンデラさんを本気にさせることができる。だったら大丈夫だと思っていた。指導者というのは、何が大切なのかを考え、自分の気持ちを乗り越えて全体のためにやる必要があるんじゃないでしょうか。

### 【リーダーとして大事なこと】

アメリカが民主主義の本場だと言われているんだけど、1776年に独立宣言があり、1788年に憲法が発効しました。その中に、民主主義という言葉はありません。民主主義のことをデモク

ラシーというね。デモクラシーの「デモ」をデマゴグあるいはデマと結びつけているんだ。民主主義を、否定的に考える人が第二次大戦頃までアメリカでは多かった。今年、大統領選挙があって民主党と共和党が戦った。共和党はRepublican という政党で、民主党はDemocratic といいます。どうもデモクラシーをデモクラティックといい、民主主義というのは民主党の政治だという人もおったくらい。ところが、日本が戦争に負けて民主主義の概念を同様に受け入れたんだけど、当時の文部省は「民主主義」という教科書をつくった。民主主義をどのように日本に根付かせていくか。その中に結構深いところまで書いてある。民主主義の基本は選挙です。つまり、選挙で多数をとった人たちが政権に就くのが民主主義の基本なんだ。民主主義は多数決を重んじるが、いかなる多数の力をもってしても言論の自由を奪うことは絶対に許されるべきではない。なんでも多数の力で押し通し、正しい少数の意見に耳をかさないことになれば、それはまさに多数党の横暴である。民主主義はこの弊害を何とかして防いでいかなければならない。つまり、多数の横暴をどうやって抑えていくかが民主主義そのものであることを、今から 68 年前にできた教科書に書いてある。指導者というのは、多数を大事にするという当然なんだけど、少数の人たちに耳を貸すというのが大切だということ。もう一つは少数にこそ正しい意見があることを忘れないようにしなくちゃいけない。これが、リーダーとして大事なことであるということをお話しておきます。

## ◇座談会記録

### ○はじめの言葉（司会生徒）

これより座談会を行います。先程の講演会ではリーダーの資質について学びました。この時間は質疑を含めて自由に意見を交わしていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

### ○生徒A

なぜ、ジャーナリストの仕事を選んだのかお教えてください。

### ○矢高スーパーバイザー

高校の時は郷土班に入っていた。地元のことを、一生懸命勉強したかった。自分のことを知ってということは世界を知ることだし、世界を知るっちゅうことが自分を知ることだなあ。当時は 1 ドル 360 円に決まっとったという時代だったよ。そういうのは君たちは分からんら。今は 1 ドル 114~115 円だが、昔は 1 ドルは 360 円に 30 年近く決まっとった。本当かどうか分からんが、360 円が 1 ドルと決めたのが、円は 360 度だで 1 ドルは 360 円にしようかってまことしやかに言われていた。それから 1971 年に 308 円に決め直した。1973 年、私がアメリカの高校に 1 年間に行っていた時に変動相場制に移行されました。1985 年にプラザ合意があつて、一気に 200 円を割るようになった。今から 30 年前くらいから広い意味で同じような円とドルの交換体制ができたんだけど、海外に行って見てみたいという思いから、特派員になるのが海外に行く一つの道だと考えてジャーナリストの道に進みました。

国際化ということを皆さんは言っておるけども、グローバル化や国際化っていろんな国に行ったりしていろんな人と付き合うことで、自分を取り巻く自分の故郷はどういう所かが分かる。自分の住む町はどういう歴史を持っているのかを知るためには、やっぱり世界に目を向けて欲しい

し、世界の肌の色の違う人たちのことをよくわかってあげるには、自分自身のことを知る、自分の家族のことを知るというのは、大事なことだと思います。

○生徒A

ありがとうございました。

○生徒B

海外で生活されることが長かったと思いますが、一番大変だったことは何ですか。

○矢高スーパーバイザー

さっき皆さんにも見ていただいたとおり9月11日にアメリカで同時多発テロがあって、それから3ヶ月間のニューヨークでの取材がやっぱり辛かったです。毎日忙しい。身近な例だけ言つとくと、私の個人的な事情を聞きたいわけではないと思うんだけど、当然のことながら時差がある。基本的に日本が昼間だとアメリカは夜だ。

飯田で読んだる人はおらんかもしれんけど、新聞には朝刊と夕刊のがあって、朝来るのが朝刊で、午後來るのが夕刊なんです。アメリカの東海岸は、日本との時差が14時間あるんです。ニューヨークとかワシントン、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロにおける日本の記者は、1日に2回、朝起きたら直ぐに記事を書いて、寝る前にも記事を書く。事件・事故があるものすごく忙しくて、悲惨だな。アメリカ同時多発テロでは3,000人もの方々が亡くなった。半年ぐらいて、ビルが倒れて亡くなった方々の奥さんで、事故後に赤ちゃんを出産した人たち20~30人が一緒に集まって会をしたことがあって、私はその記事を書いたことがあります。テロの被害者遺族という人たちと向き合うのは、やっぱり厳しかったなあと思っています。

○生徒B

ありがとうございました。

○生徒C

グローバル化は基本的に国境がないという概念で、国際化は国があることが前提になるというお話をお聞きしたのですが、グローバル化と国際化のどちらに向かっていくべきなのか、矢高先生のご意見をお聞かせください。

○矢高スーパーバイザー

違う価値観を持っていることに対する敬意。それを認めることが基本だと思います。今のEUの問題とか、世界の大きな問題は、そういうものを取っ払うことについて前のめりになってやってきたんじゃないかっていうことを私はどちらかという強く思う。少なくともグローバル化を進めていく上で、国と国との違いを、意識したいと思います。私は最初にイランという国に行つて、その次に南アフリカというところに行つて、最後にニューヨークに行つとったんだけど、この3つの国に共通することは、外国に侵略された国です。今はアメリカがそれこそ外国のことを侵略しとるんじゃないかと言う人もおらんんじゃないかと思うんだけど、アメリカという国はそもそもイギリスの植民地であり、ロンドンの人たちが勝手にアメリカの税金とかを決めることに反対して、独立した。イランでは戦後にアメリカが仕組んだクーデターがあって、首相が倒されて、その後アメリカとべつたりやつとったんだけど、1979年、今から37年前に私が会社に入った年だけでも、革命があつて反アメリカを打ち出してきた。非常に自分の国の独立というこ

とについて敏感です。アメリカやそういう国について言えることは、自分たちの国旗とか国歌に対してものすごく敏感で、日本人とはやっぱり違う。日本には今、国旗国歌法というのがあって、日の丸が国旗で、君が代が国歌と決めてあるけども、日本人の感覚とものすごく違います。

外国の国旗と国歌に対する尊敬の念というのか、敬意というのを大切にしてもらいたい。私はよく言うんだけど、皆さんが生まれた頃に長野冬季オリンピックが開催され、長野市周辺の小・中学校では1校1国運動として、1つの参加国のことを勉強し、それが根付いていった。日本のモーグルの女子選手が金メダルを獲ったんだけど、帽子を被ったまま表彰台上っていろいろな意見が寄せられた。国旗に対する敬意を表するには、帽子をとる、胸に手をあてることが必要といわれている。日本の国旗が揚がり、国歌が流れるのに帽子を被っていることに対して賛否両論あったんだけど、2位と3位がドイツとノルウェーの選手で、両国の国旗も掲揚された。君が代・日の丸に対する敬意の表し方というのはいろいろあると思うんだけど、外国の国旗が揚がるときに、帽子を被っていたのはまずかったなと思いました。もちろん、アメリカだって今日のニュースで話題になっただけでも、星条旗を燃やして自分の意見を誇示するのがいいとか悪いとかいう意見もあるんだけど、やっぱり外国人である日本人としてどこに行っても外国の国旗に敬意を表する。敬意を表する時には、日本人が日本の国旗も出してこないで相手の国の旗だけ持ってきたらおかしい。外国の方を迎える時には自国の国旗と相手の国旗を一緒に掲げるというような敬意を表する。日本人にとっては当たり前のことでも、植民地化されていた国では独立ということは大変なことだ。グローバル化という国境のない世界を本当に実現できることをEUも重要だと思っているけれども、急いでやってもなかなか難しい。経済の力の強い国が勝つというだけだといけないと私は思っている、ということは申し上げたい。

○生徒C

ありがとうございました。

○生徒D

取材でいろいろな国に行かれ、各国にはそれぞれの特長があったと思うのですが、飯田に戻ってきてここが良いなと思ったことはありますか。

○矢高スーパーバイザー

自分の町が良いとか、この町が良いとかっていうのはあるな。景色が良いとか。人柄が良いとか、仕事があるっていうのもそうだし、街並みがきれいだとか、森がきれいだとかあるな。私、飯田が、ある意味特別だと思う。なぜかという、飯田が好きになる理由で、こういうことを言う人はあまりおらんと思う。岸田國士っていう、有名な劇作家が飯田市鼎に疎開をされとった。岸田國士戯曲賞というのがあって、大変有名な人です。亡くなってしまったが、娘に岸田今日子という女優と岸田衿子という童話作家がおって、大変に立派な家族です。その人が、「飯田の町に寄す」という詩を昭和22年6月の飯田市報の第1号らしいけど、それに寄せてくれたんな。昭和22年っていうのは、聞いたことがあると思うけど、この年の4月に飯田の丘の上が殆ど焼けてしまった大火があった。今の飯田市美術館があるところに飯田長姫高校があって、私も子どもの頃に行ったことがあるけど、飯田長姫は焼けなんだったな。当時は飯田商業だけだな。その大火の2ヵ月後に、被災された人たちを励ますということで岸田國士先生が寄稿してくれた。「飯

田 美しき町飯田 美しき町 山ちかく 水にのぞみ空あかるく風にほやかなる町」。私はこっからが好きなんだけど「飯田 静かなる町 人みな 言葉や明らかに 物音 ちまたにたゞず 肅然として古城の如く丘にたつ町」とか「飯田 天竜と赤石の娘 おんみ さかしくみめよく育ちたれど いま 新しき時代に生きんとす よそほひはかたちにあらず 美しく 静かに ゆかしく 豊かに おんみの心をこそ 新しくよそほひたまへ」。もう一度読むけれど「人みな 言葉や明らかに」。私が一番強調したいのは、飯田は言葉だと思う。飯田の言葉がいいもんで、飯田が好きだっていう人がおるんじゃないかと思う。そういうところは、他の地にはあんまりない。角を立てない。荒立てない。みんなは使うかな。何かあったときに、「とがめる」っていうことをしなくちゃいけないことがあると思うんだけど、その時に「それはいけません」とか、日頃使つたらん標準語で言っても、やっぱりちょっとっていうのがある。飯田で「ほえ」っていうのがある。知つとるかな。「ほえ、それだめだに」っていうふうに、女の人が「ほえ」っていうんだな。これはいいな。優しく言われているみたいで、何がいけなかったかなっていうふうに思わんかな。そういう優しい言葉だと、角が立たんな。だから、飯田の言葉が好きなんだ。飯田の優しさを持った言葉っていうのは、お互いに気持ちに余裕があったときに話すことができる。本当に追い詰められたり、おっかないと思うと不思議なもんで、標準語を使って話をしたりする。山もきれいです。水もおいしいです。空気もうまい。だけど、飯田に来て一番良いのは言葉だね。

○生徒D

ありがとうございました。

○生徒E

私は友達と地域に出て一緒に活動することがあるんだけど、私たちの意見と地域の大人の人たちとの意見が違うことがあります。考え方が異なる人たちと地域で活動していく中で、リーダーとしてどんな気持ちや考え方で望み、接すればいいのか、ヒントをもらえたらと思います。よろしくをお願いします。

○矢高スーパーバイザー

相手の気持ちを傷つけることなく、それぞれが自分の思つとることを言い合えるようにすること。後で心の中に重たいものが残らないように、相手に思つたことを言わせる。自分も思つたことを言う。お互いに「あれを言っとけばよかった」と思つとると、段々コミュニケーションがとれなくなる。日本人は相手のことを聞くことを重視するけども、自分の言いたいことをうまく言葉を使いながら言い、相手にも言わせることが重要だと思います。いったい何が重要なのか、結論をみんなが意識して行動する。そのためには自分が我慢するのが一番大切なんだ。高校生の皆さんに言いたいのは、一緒に仕事をする人の中で自分と合いそうな人はいないのか、誰が自分のことを分かってくれる人なのか、自分が共感できる人を探すことだよ。

ここから先は余談なんだけど、日本の普通の組織でリーダーになる人は「こいつは自分の味方かどうか」を直ぐに見分ける人がリーダーになりやすいな。こいつは俺に尽くす。こいつはそうじゃないっていうことを、当たっていようがいまいが、直ぐに決められる人がリーダーになることが多いと私は感じました。このことは、皆さんの中には参政権がある人がいるから、味方かどうかで決めている人がおるんだっていうことを伝えてもいいと思つたんで、話をしました。

○生徒E

ありがとうございました。

(司会生徒)

矢高さんとはもう少しお話しをしたいところですが、時間となりましたのでこれで講演会・座談会を終わりにします。最後に矢高さんから、参加者、また、長野県の高校生の皆さんへのエールをいただきたいと思います。

○矢高スーパーバイザー

10年ぐらい前までは講演をする機会があると、「家で新聞をとっている人、新聞を読んでいる人は手を挙げてください」って聞いたんな。最近、怖くて聞けんの。だもんで、今日は聞きません。AKB48の内山奈月という人と、九州大学法学部の憲法学が専門の南野森教授の二人で質問を掛け合いながら「憲法主義」(PHP 研究所)という本を出したんです。憲法をどういうふうにかけていくのかっていうことがあって、一つは憲法は皆さんにどうしろという法律じゃなくて、国を縛るものだという話で、極端にいうと「国民は憲法を守らなくてもいいんだ」と言っとった。

ここからは私の意見になるけれど、そうはいつでも今の憲法には勤労の義務、納税の義務、子どもに義務教育を受けさせる義務など、しっかりと守るべき義務が書いてある。24条には「男女平等」って書いてあるけども、その中に「夫婦は協力しなくてはいけない」と書いてある。夫婦が協力するかどうかはお互いの問題であって、憲法に書いてあるから夫婦が仲良くできればこんな良いことはない。「憲法に書いてあるから仲良くしようよ」と配偶者に言うと、「あんたの態度次第だよ」と反論されるんだな。

本題に戻るけど、この本を読んで感心したことがあるんな。民主主義っていうことをやっていく上で必要なのは、皆さんの選んだ国会議員に議論してもらう。それをやるためには、マスコミが自由に批判して、どの政党、どの候補に投票するのか、その判断材料になる報道を日々きちんとしていくことが、民主主義には非常に重要だと言っとるんだ。国会議員の話を聞いたりマスコミの報道を読んでそれを鵜呑みにせずに、自分の頭で考えた意見を持って投票をしていただきたい。共同通信社の私の先輩に藤田博司さんといって、共同通信を辞めた後に上智大学文学部で教授になって教えとった方がいました。藤田さんいわく、「新聞、ジャーナリズムというのは、正確で公平なニュースを皆さんに提供することである。」とおっしゃっていた。やはりインターネットで自分の見たいものだけ見ているんじゃなくて、新聞を開いてみて読んでみるとバランスの取れた栄養が皆さんに与えられるというんです。新聞は正確で公平なニュースを皆さんに示していると考えたいし、投書欄とか識者の談話等があって、意見を戦わすフォーラムを担保する。12月2日にカジノ法案が衆議院の委員会を通過しました。カジノがあると日本経済が成長するという意見と、ギャンブル依存症が多くなって悲惨なことになるという意見もある。そういった様々な意見を皆さんに提供するのがジャーナリズム、新聞です。新聞を開けば両方の意見が書いてあるはず。さらに重要なのは、大きな権力の不正や腐敗を監視するのが新聞の役割です。

最後にお願として、指導者になる方、あるいは指導者を監視するという気持ちを持つ人たちに対して、機会があれば新聞を開いて何が書いてあるか見出しだけでも良いので、全部見てほし

と思います。それから、新聞記者は記事を正確に書く努力と、10～12文字の見出しだけ読んでもらっても話が分かるように努力していることを最後にお伝えし、休日にもかかわらず2時間も私の話を聞いてくださった皆さんにお礼を申し上げ、終わりとさせていただきます。本当にありがとうございました。

(司会生徒)

矢高さんより新聞記者に関する事等、たくさん大事なことを教えていただきました。どうもありがとうございました。それでは最後に生徒代表よりお礼の言葉があります。

お礼のことば (代表生徒)

本日は貴重な休日に、遠くからお越しいただきありがとうございました。矢高さんは講演会の冒頭で、「休日に私たちの貴重な2時間を使って」とおっしゃっていましたが、私たちも矢高さんの休日の大事な2時間をいただいたわけですので、それはお互い様です。本日は本当にありがとうございました。

(司会生徒)

慣れない司会でしたが、皆様のご協力のおかげで円滑に進行することができました。これで本日の全ての日程を終了します。ありがとうございました。